

8	「市民主体・連携」で幸せ実感	1	新たなタウンミーティングとして、世代別や職業別の対話形式による政策形成を行います。					
取組	新たなタウンミーティングの実施		担当	タウンミーティング課				
実績	● タウンミーティングの開催							
	・ 地域別に加え、世代別、職業別の新たなタウンミーティングを実施(H27.2～)							
	《これまでの開催状況(累計)》							
	H26年度(H27.2～) H27年度 H28年度 H29年度 H30.11末							
	2 期 目	世代別・職業別	2	9	15	18	18	回
			73	267	749	820	820	人
		地域別	0	4	3	5	2	回
			0	135	100	188	76	人
	1期目からの累計	80	91	100	108	110	回	
		5,732	6,061	6,643	6,902	6,978	人	
● タウンミーティングラジオ広報「えひめまるごと15分(まちラヂ)」を開始(H28.6～、毎月第1水曜日に市長出演)								
● タウンミーティング100回(1期目からの累計)を達成(H29.2)								
・ 子規・漱石生誕150年にちなみ、子規・漱石にゆかりのある松山東高等学校1年生350名と意見交換								
● タウンミーティング100回記念特別企画を開催(H29.2)								
・ イベント:「市長！聞いてや！私の想いin松山城」「飛ばそや！夢ひこうきin松山城」 ※ 参加者:東中学校2年生 約90名								
● これまでの主な実現施策								
・ 小・中学校のエアコン整備(H29、H30年度) ※H31.2完了								
・ 保育園の入園決定の早期通知(H28年度～)								
・ 北条児童センターの整備(H28.7)								
・ 朝生田西交差点への左折専用レーンの整備(H29.12)								
・ 興居島体験滞在型交流施設「ハイムインゼルごごしま」の整備(H29.4)								
・ 柑橘施設への助成継続(H27年～)								
・ 子育てひろば「Toi Toi Toi」の整備(H29.10)								
・ 和菓子PRイベントの開催(H30.5)								
・ 通学路の安全対策の継続実施(260カ所以上で対策済) ※H29年度末								
  タウンミーティング								

8	「市民主体・連携」で幸せ実感	2	まちづくり協議会の結成や活動を支援します。市民の「意識調査」や「まちづくり提案制度」を実施して市政へ反映するなど、市民が主役のまちづくりを展開します。																											
取組	まちづくり協議会の拡充		担当	市民参画まちづくり課																										
実績	<table><thead><tr><th></th><th>H27年度</th><th>H28年度</th><th>H29年度</th><th>H30.11末</th><th></th></tr></thead><tbody><tr><td>設立地区数(累計)</td><td>20</td><td>24</td><td>28</td><td>30</td><td>地区</td></tr><tr><td>うち協議会数(累計)</td><td>17</td><td>21</td><td>24</td><td>26</td><td>地区</td></tr><tr><td>うち準備会設置数</td><td>3</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>地区</td></tr></tbody></table>							H27年度	H28年度	H29年度	H30.11末		設立地区数(累計)	20	24	28	30	地区	うち協議会数(累計)	17	21	24	26	地区	うち準備会設置数	3	2	2	2	地区
		H27年度	H28年度	H29年度	H30.11末																									
	設立地区数(累計)	20	24	28	30	地区																								
	うち協議会数(累計)	17	21	24	26	地区																								
	うち準備会設置数	3	2	2	2	地区																								
	● まちづくり協議会の設立 ・ 新玉地区まちづくり協議会、清水地区まちづくり協議会 (H27.4) ・ 日浦地区まちづくり協議会、浅海地区まちづくり協議会 (H28.4) ・ 味酒地区まちづくり協議会 (H28.7) ・ 久谷地区(荏原・坂本地区)まちづくり協議会 (H28.11) ・ 伊台地区まちづくり協議会 (H29.4) ・ 興居島地区(由良・泊地区)まちづくり協議会 (H29.8) ・ 久枝地区まちづくり協議会 (H30.2) ・ 立岩地区まちづくり協議会 (H30.4) ・ 味生地区まちづくり協議会 (H30.5)																													
	● まちづくり協議会準備会の設立 ・ 河野地区まちづくり協議会準備会 (H30.7) ・ 高浜地区まちづくり協議会準備会 (H30.7)																													
	● 未設立地区で説明会を開催																													
	● 先進事例を紹介する「地域力パワーアップ大会」を開催 (H27.6～、年1回)																													
	● まちづくり女子会の開催(H29年度～)																													
取組	まちづくり提案制度の実施		担当	市民参画まちづくり課、都市デザイン課、企画戦略課																										
実績	● まちづくり提案制度 ・ 市民活動推進補助金に「次世代育成支援事業」を新設(H28年度～) ・ 子どもたち自身が主体的にまちづくりについて考え行動する“きっかけづくり”として「まちづくり子どもサミット」(ワークショップ)を開催(H29.2、3)																													
	<table><thead><tr><th></th><th>H28年度</th><th>H29年度</th><th>H30.11末</th><th></th></tr></thead><tbody><tr><td>補助金交付団体数(累計)</td><td>6</td><td>12</td><td>21</td><td>団体</td></tr></tbody></table>							H28年度	H29年度	H30.11末		補助金交付団体数(累計)	6	12	21	団体														
		H28年度	H29年度	H30.11末																										
	補助金交付団体数(累計)	6	12	21	団体																									
● 松山市美しい街並みと賑わい創出事業																														
<table><thead><tr><th></th><th>H27年度</th><th>H28年度</th><th>H29年度</th><th>H30.11末</th><th></th></tr></thead><tbody><tr><td>補助金交付決定数(累計)</td><td>7</td><td>13</td><td>17</td><td>18</td><td>団体</td></tr></tbody></table>							H27年度	H28年度	H29年度	H30.11末		補助金交付決定数(累計)	7	13	17	18	団体													
	H27年度	H28年度	H29年度	H30.11末																										
補助金交付決定数(累計)	7	13	17	18	団体																									
● 市民意識調査 ・ 総合計画に掲げる各施策の重要度、満足度、優先度について市民意識調査を実施(H27.2、H28.2、H29.2、H30.2)																														

8	「市民主体・連携」で幸せ実感	3	愛媛県と松山市の緊密な関係のもと、県・市の連携政策をさらに推進します。市長会や他都市と連携した効率的で広域的な政策、産・学・官が連携したオール松山の政策、姉妹都市や友好都市、台北市と連携した国際的な政策を推進します。											
取組	県市連携の推進		担当	企画戦略課、人事課										
実績	● 愛媛県・市町連携推進プラン - 毎年2月に次年度版を策定し、県と20市町が“チーム愛媛”として連携して施策を推進《H27年度版》 - 新たに、「人口問題対策、防災・減災対策、自転車新文化の創造」の3つを、今後の重点連携項目に設定 《H28年度版》 - 子育て支援員研修の県下一括実施や、災害時の市町相互応援体制の構築など、19項目の新規連携施策を決定 《H29年度版》 - 愛媛県版イクボス「ひめボス」合同宣言の実施や、大規模氾濫に備える避難体制の強化など、25項目の新規連携施策を決定 《H30年度版》 - 結婚支援事業「愛結び」の窓口増設や、福祉避難所の整備促進など、25項目の新規連携施策を決定 ● 新規連携施策:101項目(H27～30年度版 累計) ※愛媛県内全自治体 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27年度版 (H27.2)</th> <th>H28年度版 (H28.2)</th> <th>H29年度版 (H29.2)</th> <th>H30年度版 (H30.2)</th> <th>項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>32</td> <td>19</td> <td>25</td> <td>25</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ● 行革甲子園 《行革甲子園2016》 47都道府県110市町村104事例の応募の中から、一次審査(書類審査)を通過し、8団体による最終審査(プレゼンテーション審査)に進出 取組事例:下水処理場の未利用エネルギー有効活用による歳入増加策 《行革甲子園2018》 47都道府県117市町村141事例の応募の中から、一次審査(書類審査)を通過し、8団体による最終審査(プレゼンテーション審査)に進出 - 最終審査の結果、グランプリを受賞 取組事例:窓口一本化の保安指導で防災体制を強化(新規財源の確保) グランプリを受賞した行革甲子園2018				H27年度版 (H27.2)	H28年度版 (H28.2)	H29年度版 (H29.2)	H30年度版 (H30.2)	項目	32	19	25	25	
H27年度版 (H27.2)	H28年度版 (H28.2)	H29年度版 (H29.2)	H30年度版 (H30.2)	項目										
32	19	25	25											

8	「市民主体・連携」で幸せ実感	3	愛媛県と松山市の緊密な関係のもと、県・市の連携政策をさらに推進します。市長会や他都市と連携した効率的で広域的な政策、産・学・官が連携したオール松山の政策、姉妹都市や友好都市、台北市と連携した国際的な政策を推進します。	
取組	広域連携の推進		担当	企画戦略課、 観光・国際交流課
実績	● 連携中枢都市圏(松山市、伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町) - 松山圏域連携協議会(3市3町の首長)と松山圏域活性化戦略会議(3市3町の首長と産学官民の代表者)を設置(H27.8) - 松山圏域内5大学の教授等で構成する「専門委員会」を開催(H28.2) - 連携中枢都市宣言を行い、近隣5市町と連携中枢都市圏形成に係る連携協約を締結(H28.7) 「まつやま圏域未来共創ビジョン」を策定(H28.7) - 連携協議会を開催(H28.6、H29.12、H30.10) - 活性化戦略会議を開催(H28.6、H29.12、H30.10) - 連携協議会と活性化戦略会議で基本目標・具体的取組への成果指標(KPI)の設定について審議し、「まつやま圏域未来共創ビジョン」を改訂(H30.3) - 中間報告を公表(H30.10) ※ 各連携分野での個別協定締結数:8件 ※ 「まつやま圏域未来共創ビジョン」に掲げる指標72件のうち、中小企業商談力向上支援や、救急ワークステーションを活用した研修、病児・病後児保育の広域受け入れなど、61件が概ね順調に進行 ● 瀬戸内4県都市長会議 - 瀬戸内の中心都市である岡山市、広島市、高松市、松山市が連携して観光振興などの共通課題に取り組み、互いの特性を生かして相乗効果を発揮するために開催 - 第1回:道後温泉本館(H27.10) - 第2回:岡山城天守閣(H28.10) - 第3回:栗林公園商工奨励館(H29.10) - 第4回:おりづるタワー(H30.9) - マレーシア観光プロモーションを実施(H28.7) - エンブレムを作成・披露(H28.10) - タイFAMツアーを実施(H29.7) - 香港の旅行専門誌記者のFAMツアーを実施(H30.7) 4市PR動画の作成(H30.9) ● 第140回四国市長会議を松山市で開催(H28.5) ● 四国市長会長に就任(H29.5～H30.5) ● 全国市長会副会長に就任(H30.6～)			
	松山圏域連携中枢都市圏 連携  近隣5市町と連携協約を締結  瀬戸内4県都市長会 エンブレム			

8	「市民主体・連携」で幸せ実感	3	愛媛県と松山市の緊密な関係のもと、県・市の連携政策をさらに推進します。市長会や他都市と連携した効率的で広域的な政策、産・学・官が連携したオール松山の政策、姉妹都市や友好都市、台北市と連携した国際的な政策を推進します。	
取組	産・学・官連携の推進		担当	企画戦略課、東京事務所、電子行政課
実績	● 産官学金労言の連携による地方創生 ・ 松山市地方創生懇話会を設置(H27.6) ・ 「松山創生人口100年ビジョン」「松山創生人口100年ビジョン先駆け戦略」を策定(H28.1) ・ 松山市人口減少対策推進条例を制定(H28.3) ・ オール松山体制で人口減少対策を推進するため、推進団体を募集(H28.4～) ※ 人口減少対策推進団体数:118団体(H30.11末) ・ 民間団体主導で人口減少対策に取り組む「まつやま人口減少対策推進会議」の設立(H28.10)を支援 ・ 市内122の企業・団体で松山イクボス合同宣言式を開催(H28.11) ・ 外部有識者と市議会地方創生調査特別委員会で、重要業績評価指標(KPI)を基に効果検証をし、「松山創生人口100年ビジョン先駆け戦略」を改訂(H29.3、H30.3) ・ まつやま人口減少対策推進会議の専門部会で、「希望出生率実現プロジェクト」「まつやま暮らし実現プロジェクト」「企業の生産性アッププロジェクト」を実施(H29.4～) ・ 地方創生に関する連携協定を締結 ※ 東京海上日動火災保険(株)と地方創生に関する包括連携協定を締結(H30.2) ※ (株)NTTドコモと5G・IoT・AIの活用による地方創生に関する連携協定を締結(H30.9) ● 市内大学との連携 ・ 愛媛大学COC事業の一環として、COC公開講座in松山市を実施(H27.11～) ・ 「えひめ学」の講師として愛媛大学へ職員を派遣(H27～H29年度) ・ 愛媛大学地域共創コンソーシアムの新たな取組である「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」に参画(H27年度～) ・ 聖カタリナ大学・短期大学、松山東雲女子大学・短期大学とそれぞれ包括連携協定を締結(H28.2) ※ 愛媛大学(H19.7)、松山大学・短期大学(H22.6)とは締結済 ・ 松山大学法学部リレー講座を開催(H29、30年度は市長が講師) ● 東京理科大学との連携 ・ 『夏目漱石・「坊っちゃん」をゆかりとした文化交流、科学啓発等に関する連携協定』を締結(H28.6) ・ 副学長の向井千秋氏(アジア初の女性宇宙飛行士)講演会を開催(H29.4) ・ 神楽坂オープンキャンパスに参加(H29.8、H30.8) ・ 「サイエンスフェア2017in松山」を開催(H29.8) ・ 野田ホームカミングデーに参加(H29.10) ・ 葛飾区ふるさと・クリスマスマーケットに参加(H29.12) ● 産学官との連携 ・ 愛媛大学、愛媛県法人会連合会とのデータ利活用に関する連携協力協定を締結(H30.3) ・ 愛媛大学、愛媛県法人会連合会、日本電気(株)、(株)日立製作所、富士通(株)、(株)電通西日本とまつやまデータ利活用研究協議会を設立(H30.11) など			

8	「市民主体・連携」で幸せ実感	3	愛媛県と松山市の緊密な関係のもと、県・市の連携政策をさらに推進します。市長会や他都市と連携した効率的で広域的な政策、産・学・官が連携したオール松山の政策、姉妹都市や友好都市、台北市と連携した国際的な政策を推進します。	
取組	姉妹都市・友好都市との連携		担当	観光・国際交流課、文化・ことば課、環境モデル都市推進課、スポーツ・インテグリティ推進課
実績	● サクラメント市 - 市内の高校及び大学が学校間交流(H27.1、7、H28.1) - 姉妹都市提携35周年を記念し、リック・ジェニングズ副市長ら代表団が来松。松山総合公園での記念植樹式やみんなの生活展での交流。市内の小学校とサクラメント市の小学校が姉妹校提携調印(H28.10) 「サクラメント姉妹都市提携35周年記念訪問団」がサクラメント市を答礼訪問。小学校での桜の苗木の記念植樹や、サクラメント市内のイベントに参加し、松山市のPRをするなどの交流。市内の中等教育学校とサクラメント市の高校が姉妹校提携調印(H29.5) ● フライブルク市 - 姉妹都市提携25周年を記念して設置した観光俳句ポスト投函作品からドイツ語部門入選句を発表(H27.3) (公財)松山国際交流協会と連携し、フライブルク市の青少年を受け入れ(H27.10、H29.10) - 小学生対象のWeb会議を6回実施(H27.8、11、H28.2、6、9、12)し、本市独自の環境教育プログラムを作成(H29.3) - フライブルク市で開催された「地域再生可能エネルギー会議」で環境モデル都市としての取組事例を発表(H28.10) - Web会議を経て作成した環境教育プログラムを体験型環境バスツアー等、環境教育で活用(H29年度～) - フライブルク大聖堂少年合唱団が来松。姉妹都市提携30周年を記念し、松山少年少女合唱団との交流演奏会を開催(H30.8) - 姉妹都市提携30周年を記念してマーティン・ホーン市長ら代表団が来松。市内の高等学校訪問や、まつやまRe・再来館での記念植樹などで交流(H30.9) - フライブルク市で開催された「国際姉妹都市会議」で松山市の取組事例を発表(H30.10) ● 平澤市 - 毎年、愛媛マラソンと平澤港マラソンに両市のランナーが参加 - 友好都市提携10周年を記念して孔在光市長ら代表団が来松(H27.2)し、答礼として本市から代表団を派遣(H27.10) - 平澤市の職員が来松し、まつやまRe・再来館や西クリーンセンターを視察(H27.4) - 平澤市の職員が来松し、都市整備について意見交換(H27.5) - 孔在光市長ら代表団が来松し、松山まつりに参加し、孔市長に特別名誉市民の称号を贈呈(H28.8) - 平澤少年サッカー交流10周年を記念し、小学生サッカー交流大会を開催(H29.3) - 平澤FC U-18サッカーチームが来松。愛媛FC U-18をはじめ本市の高校生や大学生と交流試合を実施(H30.1) - 平澤市の職員が来松し、中央公園や観光行政を視察(H30.11)			

8	「市民主体・連携」で幸せ実感	3	愛媛県と松山市の緊密な関係のもと、県・市の連携政策をさらに推進します。市長会や他都市と連携した効率的で広域的な政策、産・学・官が連携したオール松山の政策、姉妹都市や友好都市、台北市と連携した国際的な政策を推進します。															
取組	台北市との連携		担当	観光・国際交流課、 スポーツ・インテグリティ推進課、 文化・ことば課、学校教育課														
実績	台湾からの観光客数 <table><tr><td>H21年</td><td>…</td><td>H26年</td><td>H27年</td><td>H28年</td><td>H29年</td></tr><tr><td>2,300</td><td>…</td><td>22,200</td><td>36,000</td><td>43,300</td><td>57,600</td></tr></table> 人						H21年	…	H26年	H27年	H28年	H29年	2,300	…	22,200	36,000	43,300	57,600
	H21年	…	H26年	H27年	H28年	H29年												
	2,300	…	22,200	36,000	43,300	57,600												
※台北市と交流開始したH21の25倍に増加(H29年)																		
●観光・経済交流 ・「愛媛・松山-台北・松山」直行チャーター便を継続して運行(H25.10～毎年) ・台北温泉まつりでの道後神輿の披露(H27.10～11)や台北ランタンフェスティバルでのランタン出展など、台北市で松山市を観光PR(H29.2～毎年) ・えひめ・まつやま産業まつりへのブース出展(H27.11、H29.11)や大神輿総練前夜祭でのランタンオブジェの展示(H28.9)など、松山市で台北市を観光PR ・台湾亜太国際温泉旅遊協会会議を道後温泉で開催(H28.6) ・日台観光サミットin四国に合わせて、愛媛県知事・松山市長主催歓迎晩餐会を開催(H29.6) ・松山市と台北市の相互誘客キャンペーンを実施(H29.7～11、H30.9～11) ・H26.10に締結した友好交流協定の期間を延長し、再締結(H29.10) ・「愛媛・松山-台北・松山直行チャーター便就航5周年」記念式典の実施(H30.10) ・定期便の就航がエバー航空社内で決定(H30.11) ※H31.2運航スケジュール決定 ●スポーツ・文化交流 ・愛媛マラソン、台北国際マラソンに両市のランナーが参加(H27年度～) ・松山国際スポーツ交流事業実行委員会を設立(H27.8 ※H28.3改称) ・WBSC U-15ベースボールワールドカップ チャイニーズ・タイペイ代表 事前合宿を受入(H28.6.30～7.9) ・台北市交流団との軟式野球親善交流を実施(H28.10) ・子規・漱石生誕150年記念「俳都松山キャラバンin台北～十七音が景色を変える～」を開催(H29.3) ・愛媛大学と連携して台北国際ドラゴンボートレース大会へ選手団派遣(H29年度～) ・台湾U-15代表が参加するU-15アジアチャレンジマッチ2017を開催(H29.11) ・台北国際少年野球大会へ松山市選手団を派遣(H29年度～) ・松山市の小学生チームの大会に台北市U-12サッカーチームを招待(H30.8) ・WBSC U-23ベースボールワールドカップ チャイニーズ・タイペイ代表 事前合宿を受入(H30.10) ・台湾ポンフーマラソンへ松山市選手団を派遣(H30.11) ●青少年交流 ・湯築小と勝山中でフォトメッセージを作成し、台北市の小中学校へ届ける(H27.8) ・台北市立介壽(カイジュ)国民中学校の楽団が来松し、勝山中生徒と交流(H28.8) ・湯築小、勝山中の教員と市の職員が台北市立松山(ショウザン)国民小学校、台北市立介壽国民中学校を訪問(H28.10) ・湯築小4年生全員がメッセージしおりを送付し、台北市立松山国民小学校からは、約40点の美術作品が届く(H29.2) ・勝山中生徒会役員が通算5回目のフォトメッセージを送付(H29.3) ・台北市立松山国民小学校から湯築小にお礼のウェブ動画が届く(H29.6) ・湯築小6年生全員が作成したキーホルダー約100個を職員が現地に持参し、台北市立松山国民小学校に進呈(H29.10) ・勝山中生徒会役員が通算6回目のフォトメッセージを送付(H30.3)																		

8	「市民主体・連携」で幸せ実感	4	行政改革の推進や財源の確保、施設のマネジメントなどによって持続的・効率的な行財政運営を行います。職員のコンプライアンスを徹底して市民に信頼される市役所づくりを行います。	
取組	行政改革の推進		担当	人事課、企画戦略課
実績	● 人材育成・行政経営改革 ・ 事務事業シートの作成、公表(H27年度～) ・ 「松山市人材育成・行政経営改革方針」及び「第一次実行計画」を策定(H28.3) ※ 全87項目のうち、91.3%が概ね目標を達成(H29年度) ・ 庁内人材育成推進員、庁内研修員による職場外研修の職場への還元や全庁での計画的な研修実施の推進(H28年度～) ・ 「松山市業務継続計画(BCP)」を策定(H29.3) ・ 「椿の湯」に指定管理者制度を導入(H29.9～) ・ 毎年4月の定期人事異動に10月を追加し、年度当初の繁忙期や窓口での円滑な市民サービスに繋げ、組織力を強化(H29年度～) ・ 「松山市業務継続計画(BCP)」に基づき、業務マニュアルを再整備(H30.3) ・ 当初予算編成に際し、廃止・縮小等事業の抽出を行うなど、事務事業をゼロベースで見直し、財源捻出 ※ 136事業から7.8億円を捻出(H29～H30年度、当初予算分の累計) ● 組織改正 《H27年度》 ・ 「行政改革推進課」を「人事課」へ統合。「企画戦略課」「シティプロモーション推進課」「文化・ことば課」「スポーツ振興課」「危機管理課」「水資源対策課」「国体推進局」「環境モデル都市推進課」「都市・交通計画課」「地域防災課」を設置 ・ 「危機管理・水資源担当部長」「地方創生戦略推進官」「交通戦略推進官」「瀬戸内・松山観光戦略推進官」「債権管理官」「産業廃棄物特別対策工事担当課長」「人材育成・行政経営担当課長」を配置 《H28年度》 ・ 「教育研修センター事務所」を新設 ・ 「国体推進局長」(部長級)、「社会福祉法人制度改革担当課長」を配置 《H29年度》 ・ 「公共施設マネジメント統括官」「鳥獣対策・農地保全担当課長」「行政手続適正運用担当課長」を配置 《H30年度》 ・ 「スポーツ振興課」を「スポーティングシティ推進課」に改称 ・ 「上下水道統合推進担当課長」「スポーツコンベンション担当課長」「危機管理計画担当課長」「部活動支援担当課長」を配置 ・ 道後温泉事務所に技術職の専任課長を配置 ● 地方分権改革 ・ 国が導入した地方分権改革に関する提案募集に、17件(うち1件は愛媛県との共同提案)を改革提案(H26～H30年度) ※ 改革提案のうち、実現した件数:5件(H26～H30年度)			

8	「市民主体・連携」で幸せ実感	4	行政改革の推進や財源の確保、施設のマネジメントなどによって持続的・効率的な行財政運営を行います。職員のコンプライアンスを徹底して市民に信頼される市役所づくりを行います。																			
取組	健全な財政運営の維持		担当	財政課、納税課、 下水道政策課、下水道施設課、 企画総務課																		
実績	●「健全な財政運営へのガイドライン」に定める全数値目標をクリア(H29年度) ●市税の徴収推進 ・市税催告センターによる電話催告や納付推進員による個別訪問などの初動体制の強化 ・困難事案の愛媛地方税滞納整理機構への移管 ・早期着手・早期解決の徹底と財産調査と滞納処分の強化 ●県及び県内20市町の連携による個人住民税特別徴収の完全実施に向けた段階的な取組(H27年度～) H26年度 市税総合徴収率 95.92 % → H29年度 97.69 % ●公共下水道事業会計 ・3年連続で単年度収支が黒字化(H27年度～) ※ 接続勧奨等で収入増加 ※ 企業債の新規発行抑制や借入方式の見直し等で経費節減 ・国の固定価格買取制度を活用した中四国初の「消化ガス発電」を導入 消化ガス発電実績 H27年度 H28年度 H29年度 <table><tr><td>売電電力量</td><td>3,917,127</td><td>3,586,900</td><td>4,015,606</td></tr><tr><td>売電金額</td><td>167,182,981</td><td>150,649,800</td><td>156,608,634</td></tr></table> kWh／年 円(税抜) ●水道事業会計・簡易水道事業会計・工業用水道事業会計 ・将来の浄水場更新に備え、基金を積立 積立金実績 H29年度 <table><tr><td>水道事業</td><td>611,780</td><td>千円</td><td>累計:</td><td>4,061,150千円</td></tr><tr><td>工業用水道事業</td><td>55,232</td><td>千円</td><td>累計:</td><td>375,832千円</td></tr></table>				売電電力量	3,917,127	3,586,900	4,015,606	売電金額	167,182,981	150,649,800	156,608,634	水道事業	611,780	千円	累計:	4,061,150千円	工業用水道事業	55,232	千円	累計:	375,832千円
	売電電力量	3,917,127	3,586,900	4,015,606																		
	売電金額	167,182,981	150,649,800	156,608,634																		
	水道事業	611,780	千円	累計:	4,061,150千円																	
	工業用水道事業	55,232	千円	累計:	375,832千円																	
取組	公共施設マネジメントの推進		担当	管財課																		
実績	●「松山市公共施設再編成計画」及び「松山市公共施設等総合管理計画」を策定(H29.2) ●理財部に「公共施設マネジメント統括官」を配置(H29年度)し、「公共施設再編成計画」等に基づき、中長期的な視点で老朽化対策、長寿命化対策等を行い、財政負担の平準化や施設の有効利用を推進 ●施設の集約 ・衛生検査センターを保健所内に集約整備(H30年度) ※H31.1整備完了																					

8	「市民主体・連携」で幸せ実感	4	行政改革の推進や財源の確保、施設のマネジメントなどによって持続的・効率的な行財政運営を行います。職員のコンプライアンスを徹底して市民に信頼される市役所づくりを行います。																	
取組	職員のコンプライアンスの徹底		担当	人事課																
実績	《H27年度》																			
	・ 全職員を対象に、各種研修を実施 ※ 倫理研修、新採用職員に対するコンプライアンス研修、コンプライアンス指導員に対する研修など																			
	・ 職員による不祥事案を受け、「8つの再発防止策」を実施																			
	《H28年度》																			
	・ 業務上、利害関係者と接する機会の多い技術職員を対象に、倫理研修を実施																			
	・ 個人情報保護と情報セキュリティ研修を実施																			
	<table><tr><td></td><td>H28年度</td><td>H29年度</td><td>H30.11末</td><td></td></tr><tr><td>研修回数</td><td>23</td><td>32</td><td>32</td><td>回</td></tr><tr><td>受講者数</td><td>1,196</td><td>1,435</td><td>1,368</td><td>人</td></tr></table>						H28年度	H29年度	H30.11末		研修回数	23	32	32	回	受講者数	1,196	1,435	1,368	人
		H28年度	H29年度	H30.11末																
	研修回数	23	32	32	回															
	受講者数	1,196	1,435	1,368	人															
・ 各課等でコンプライアンス研修を実施																				
<table><tr><td></td><td>H28年度</td><td>H29年度</td><td>H30.11末</td><td></td></tr><tr><td>研修回数</td><td>1,174</td><td>1,757</td><td>1,087</td><td>回</td></tr></table>						H28年度	H29年度	H30.11末		研修回数	1,174	1,757	1,087	回						
	H28年度	H29年度	H30.11末																	
研修回数	1,174	1,757	1,087	回																
《H29年度》																				
・ 徴収嘱託員等及びその管理担当課の職員を対象に、公金等及び個人情報の適正な取り扱いに関する研修を実施																				
・ 徴収嘱託員等の管理担当課の所属長を対象に、倫理研修を実施																				
《H30年度》																				
・ 不当要求行為の第一次被害者となりうる窓口職員を対象に、実際の窓口での対応時を想定した「不当要求行為等防止対策職員研修」を実施																				
・ 選択制研修及び階層別研修受講者を対象に、コンプライアンス研修、個人情報保護及び情報セキュリティ研修を実施																				